



環境事業推進委員地区会長紹介

令和3年5月12日(水) 緑区役所において、「令和3・4年度横浜市環境事業推進委員緑区委嘱式」を開催しました。各地区の会長より一言コメントをいただきましたのでご紹介いたします。



緑区環境事業推進委員
連絡協議会会長
(新治中部地区)

小室 会長

長年、活動してきて感じたことをお話しします。緑区は緑が多くすてきな街(まち)です。歩いていてもごみのないきれいな街に住むのに快適ですね。「中山にはごみ捨て場がいくつあるの」と聞かれたことがあります。ごみ集積場所をごみ捨て場とっておられる方がいらっしゃいますが、ごみを収集していただくための一時的な場所です。昔は臭かったり、カラスに荒らされたりしてごみが散乱している集積場所がたくさんありました。今でも汚いところが見受けられますが、住民一人ひとりが集積場所をきれいにしていく癖をつけていただく必要があります。

- ①ごみは分別して、決まった日・決まった時間・決まった場所に出す
 - ②カラスに散らかされないよう工夫(立体ネット:カラスに荒らされにくい囲いなど)する
- 集積場所はやり方次第で変わってきます。工夫は無限です。引き続ききれいな街を維持していきましょう。



緑区環境事業推進委員
連絡協議会副会長
(十日市場団地地区)

本田 会長

十日市場団地地区の環境事業推進委員は推進委員同士の年齢差が大きく、高齢の方が多いので、月に一度行っている地域清掃に参加される方が少なくなってきたのが課題です。

若い人が積極的に環境事業推進委員に入ってほしいと思います。環境事業をよりよくするため、皆さまのご協力、知恵を授かりたい。



東本郷地区
綱島 会長

小室会長、本田副会長をしっかりと応援しながら2年間、環境事業推進委員の仕事に取り組んでいきたい。コロナ禍ですが、みなさんと協力しながら取り組みたいと思います。



鴨居地区
大塚 会長

環境事業推進委員は5年目で地区会長は初めて。不法投棄やポイ捨て防止など、街の美化に取り組んでいきたい。



竹山地区
井上 会長

環境事業推進委員として7年目。竹山連合自治会専任の副会長(住環境担当)も兼ねたことによって、より環境事業活動に取り組みやすい体制となった。これからも積極的に取り組んでいきたい。



白山地区
朝平 会長

環境事業推進委員は5年目。地区の定例会が軒並み中止になるなど、コロナの影響は大きいですが、街の美化推進を重点的に取り組んでいきたい。



山下地区
羽賀 会長

環境事業推進委員は5年目。きれいな集積場所とそうではない集積場所との差が激しいのが課題である。山下地区をより住みやすくきれいな街にしていきたい。



三保地区
峰尾 会長

環境事業推進委員は3年目。皆さんの協力をいただき、どのように今後環境事業の改善を図っていったらよいか考えたい。



新治西部地区
渋谷 会長

月1回、昼間の防犯パトロール&ごみ拾いを実施している。草が大量に出るのが悩みである。資源循環局や土木事務所などの関係機関と協力して環境保全に努めたい。



霧が丘地区
岡本 会長

環境事業推進委員は3年目。地区会長は初めて。環状4号線沿いのごみ拾いを行っているがペットボトルや缶、たばこの吸い殻などのポイ捨てが多いと感じる。清潔できれいな街づくりの推進に取り組むたい。



長津田地区
曽根 会長

環境事業推進委員を十数年やっている。宿場町から発展の中、狭い道路沿いに新築アパートが建築される際のごみ集積場所設置問題や、近隣市からごみが捨てられることに苦慮している。今後も地域美化を重点的に取り組んでいきたい。

環境事業推進委員

横浜市では、地域での3R行動の推進や、ごみ集積場所の清潔保持、ごみと資源物の適正な出し方の啓発等を行うため、自治会・町内会から推薦いただいた方に環境事業推進委員を委嘱しています。緑区内では、194名の環境事業推進委員の皆様が活躍しています。



新型コロナウイルスなどの感染症対策のための ごみの出し方について住民のみなさまへのお願い



地域のみなさまやごみ収集職員の感染症予防と、きれいな集積場所を維持するために以下の点に気を付けてごみを出していただくよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

その1 **ごみを正しく分別しましょう!**

コロナ禍で使用済みの**マスク**や**ティッシュ**が増えています。どちらもごみの分別は「古紙」ではなく「**燃やすごみ**」でお願いします。

その2 **ごみ袋の空気を抜いて出しましょう!**

空気を抜くことで、収集の際に袋が破裂しにくくなり、集積場所周辺へのごみの飛散を防止出来ます。

その3 **ごみ袋はしっかり縛って封をしましょう!**

結び目を持つことにより、自宅からごみを運びやすくなります。また、獣害や鳥害によるごみの飛散を防止します。

その4 **普段からごみの減量を心がけましょう!**

普段から**3R**を心がけて、必要な分だけ買い物しましょう。購入した食品は食べきりましょう。マイバッグやマイボトル、マイはしを使用するなど、ごみを出さないことも大切です。ごみを減らすことで脱温暖化にもつながります。

スリーアール **3R**とは、ごみ減量のキーワードである**3つのR**を指す言葉です。

リデュース **Reduce** ⇒ ごみそのものを減らす。
 リユース **Reuse** ⇒ 何回も繰り返し使う。
 リサイクル **Recycle** ⇒ 分別して再び資源として利用する。
 ※リデュースが最も環境にやさしい取り組みです。

マイバッグ レジ袋のごみをリデュース!
マイボトル ペットボトルや缶のごみをリデュース!
マイはし わりばしのごみをリデュース!

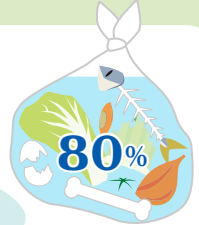
ごみを減らすことで脱温暖化にもつながります。



ミドリんのワンポイント

水切りでごみも臭いもすっきり!

生ごみの約**80%**は水分です。生ごみの水分は、腐敗や悪臭の主な原因です。



ごみを出す前に...
水分を減らす工夫をしよう!

その1 **まずは水に濡らさない!**

調理中に出る生ごみをシンク内の三角コーナーや排水口内の水切りかごに入れると、水分をたくさん吸ってしまいます。野菜の皮などは、乾かしてから出しましょう。

その2 **しばって乾かす!**

お茶がらやティーバッグは、水気をしばり、乾かしてから出しましょう。

その3 **ごみ出し前にひとしばり!**

たまった水分は「ぎゅっと」しばってから出しましょう。



嫌な臭いが減る! **ごみが軽くなって... 出しもラクラク!**

ごみが軽い **焼却工場の発電量がUP!!**

燃料の使用量 **DOWN!**

ごみが燃えやすい